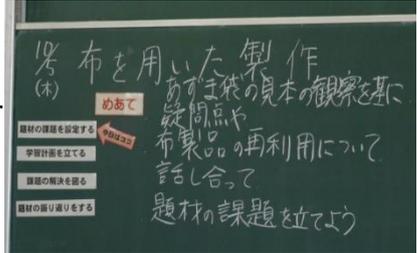
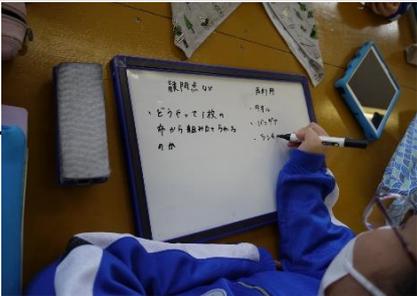


< 授 業 記 録 >

教師の発問・生徒の反応	学習の様子
<p>1 本時のめあてをつかむ。(14:10)</p> <p>T: 今日から新しい題材の学習です。「布を用いた製作」は小学校でもしましたね。</p> <p>S: エプロンやナップザックをミシンで作った。</p> <p>S: トートバッグも作った。針と糸も使ったよね。</p> <p>S: なみ縫いやかがり縫いをした。ボタン付けもした。 など・・・</p> <p>T: じゃあ皆さんは手縫いとミシンはできますね。</p> <p>S: できます。 S: 不安 など・・・</p> <p>T: 小学校の製作との違いは、中学校では「布製品の再利用」について考えることです。こんなハンカチや手ぬぐいなど家にある布製品で何か作ったことありますか？(実物を提示) ←</p> <p>S: ない。</p> <p>T: 中学校の製作では、みんながまだしたことのない、「布製品を再利用した製作」をしていくんだね。ところで、新しい題材の最初は何をするんだっけ？ ←</p> <p>S: 題材の課題を立てる。(カードを黒板に貼付)</p> <p>S: 次に学習計画を立てる。(カードを黒板に貼付)</p> <p>S: その後は実践する。課題を解決する。(カードを黒板に貼付)</p> <p>S: 最後はまとめと振り返り。(カードを黒板に貼付)</p> <p>T: では、今日のめあてはどうなりますか？</p> <p>S: 題材の課題を設定する。 (生徒の発言を基に、めあてを分割して教師が板書)</p> <p>S: いつも疑問を話し合っていて設定している。</p> <p>T: そうですね。今日は話し合いの内容をもう1つ加えましょう。「布製品の再利用」について、見本のあずま袋を観察して話し合ひましょう。 (あずま袋の実物を提示) ←</p> <p>疑問だけではなく、思ったことや感じたことを話してもよいです。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> <p><めあて>あずま袋の観察をもとに、疑問点や布製品の再利用について話し合い、題材の課題を設定する。</p> </div>	  
<p>2 見本のあずま袋を観察して疑問点や布製品の再利用について話し合い、問題を見出す。(14:18)</p> <p>T: 見本のあずま袋を観察して、疑問点や布製品の再利用について話し合い、ホワイトボードに10分間でまとめてください。</p> <p>(2種類のあずま袋を観察しながら疑問点や布製品を再利用する理由・利点・方法(再利用できる布製品)などをホワイトボードに書く)</p>	 



S 1 : ここは三角に縫ってある。 S 2 : 縫い目が内側に入っている。
 S 3 : これは、元は手ぬぐいだね。布が薄くて破けないかなあ など

T : 話し合って記述したホワイトボードを写真に撮って送ってください。
 (生徒の端末に配信、大型提示装置を用いて確認)

疑問点で、共通していたのは?

S : どう縫ったらこの形になるか。 S : 袋なのに持ち手がない。
 S : マチがあるほうが使い勝手がよさそう。 など...

T : マチに気付いた人いますか? マチって何だか説明できますか?

S : 底があるかないか。 S : 角が三角形に縫ってある。
 S : 底の面積が広がって色々入る。入れた物が安定する。 など...

T : なるほど。では、他の疑問点は?

S : どうやってできているか。
 S : 布は1枚かなあ、2枚かなあ。分からない。
 S : 強度はどうか。薄い布だと重い物を入れたら破けそう。

T : なるほど。では、これらの疑問点を解決しながら製作を進めていく
 んだね。ところで、どんなものを再利用したらできそう?

S : タオル。 S : バンダナ。 S : 洋服。 S : カーテン。
 S : ランチョンマット。 S : ハンカチ。 S : ふろしき。 など...

S : 再利用は資源を無駄にしないから環境にやさしい。いいと思う。
 T : なるほど。では、みんなが話し合ったことを確認すると、新しい題材
 の学習ではここにあるような疑問点を解決しながら、環境に配慮
 してあずま袋を作っていくということなんだね。(板書内容を確認)
 S : はい。



3 見出した問題を基に課題を立てる。(14 : 43)

T : では、みんなが話し合ったこと基に、題材の課題を立てましょう。
 ところで、みんなは誰のために作りますか?

S : 自分。 S : 家族。

T : どんなあずま袋が出来上がるとよい?

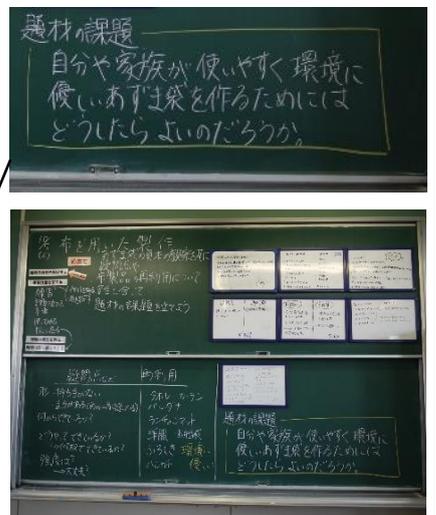
S : 便利。 S : 使いやすい。 S : かわいい。 など...

T : なるほど。使う人にとって使いやすいということかな。ところで、
小学校との違いは何でしたか?

S : 環境にやさしい。 S : 環境への配慮。 S : 再利用

T : これらをつなげると課題が立ちそうですね。どうなりますか?

S : ええと... (以下、生徒たちが立てた課題)



<課題> 自分や家族が使いやすい環境に優しいあずま袋を作るにはどうしたらよいか。

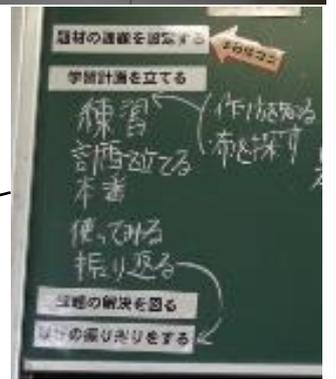
○ 学習計画を立てる。(学習指導案上にはない活動)

T : 課題が設定できたので、学習計画も立てましょう。課題を解決するためには、何をしたらよいですか?

S : 作ってみる。 S : 説明。 S : 比較。
 S : いきなりは作れない。 S : 練習してから本番。
 S : 出来上がったら使ってみる。 S : 振り返り。
 S : 製作の計画も必要。 など...

T : 材料はどうしますか?

S : 買ってくる、あつ買わないだった。家にある布で作る。



4 本時の振り返りをする（13：50）

T：本時の振り返りをタブレットに入力し、提出をしてください。

.....

<生徒の振り返り>※生徒の入力画面

初めてあずま袋を見たり触ったり実際に物を入れてみたりしたけど最初は少ししか入らないのかなと思ったけど教科書もタブレットも筆箱のさまざまな大きさのものが入ってすごく便利なものだった。使わない時は小さく畳んでしまっておけるし使わなくなった布などで作れるので普通のバッグよりも良いところが沢山あるんだなと思いました。



T：次の授業までに、あずま袋の作り方の動画を見てきてください。そして、家で再利用できそうな布を探しておいてください。（5分程度の動画を各自の端末に送付）

（授業者自作動画を大型提示装置に表示）

掲載先：群馬県教育委員会 各課提供・発行資料

https://gunma-boe.gsn.ed.jp/cb5189a52e719b24596b0c5e596c33df/page_20231023103724